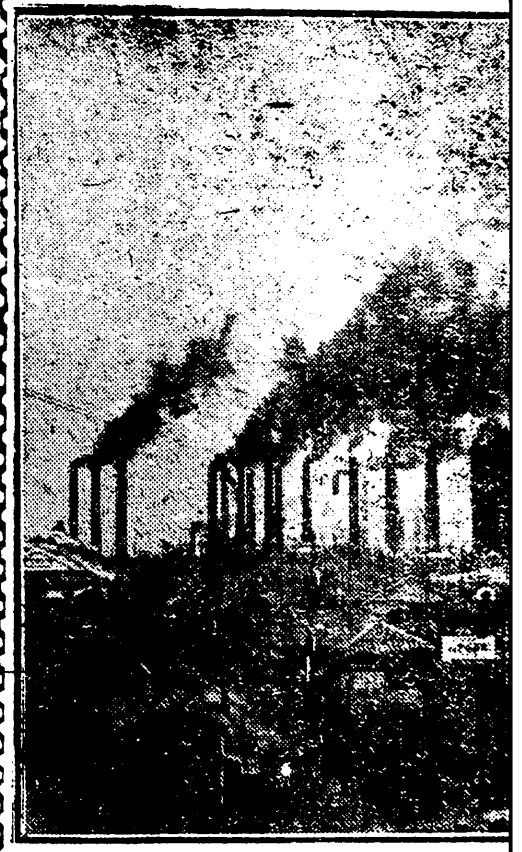
八幡製鐵所



●九日より作業に從事せる八幡製鐵所の職工

九千の職工と二千八百の人夫

怠業者は容赦なく拘引す

九日よりは兎に角形式的に作業をなすことゝなれる其の前夜なる八日は午後七時頃より雪となり不穩暗黑の雪の八幡市街は更くるに伴れてひそまり行き市内は何れも十時頃ともなれば料理店藝妓の如きを除く人家は堅く戸を鎖して深き沈默に入り却てそれだけ無限の恐怖を感ぜしめたり只獨り不夜城の物々しき燈を持續せる投票本陣たる警察署は警察部長投票正憲兵隊長等をして自働車を以て製鐵所間を往復疾走せしめ一方工場は偵察と警戒の警備隊によりもれ工場はその前夜より警戒がるさを增し首腦機關は警官を兎も角も聞けり而して警察友兩事務所には會員の出張だに見さめず察するに暗黑の中に見えだに見さめず察するに暗黑の中に見えだに見さめず察するに暗黑の中に見えだ